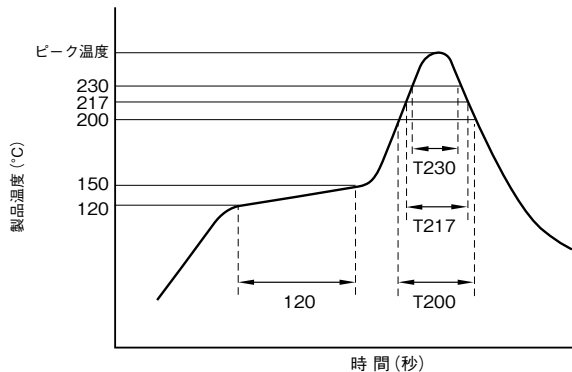


■ リフローはんだ付け推奨条件 (鉛フリー)

- CS1, CSK シリーズ, CVN, CVL, CVS シリーズ

リフローはんだ付け条件

プロファイル



1. プリヒートは 150°C以下で 120 秒以内として下さい。
2. ピーク温度は下表以下として下さい。
3. 許容範囲をこえる場合は、弊社までご相談下さい。

T200 : コンデンサ頭部の温度が 200°Cをこえる時間 (秒)
 T217 : コンデンサ頭部の温度が 217°Cをこえる時間 (秒)
 T230 : コンデンサ頭部の温度が 230°Cをこえる時間 (秒)
 温度測定部 : ケーストップ

シリーズ	サイズ	ピーク温度 (5 秒以下)	T230	T217	T200	リフロー回数
CS1 CSK	φ 6.8	250°C以下	20 秒以内	30 秒以内	40 秒以内	2 回以下
CVN CVL CVS	φ 12.5	260°C以下	20 秒以内	30 秒以内	50 秒以内	2 回以下

注意事項 : リフローは上記範囲内で、可能な限り低温・短時間にて行って下さい。

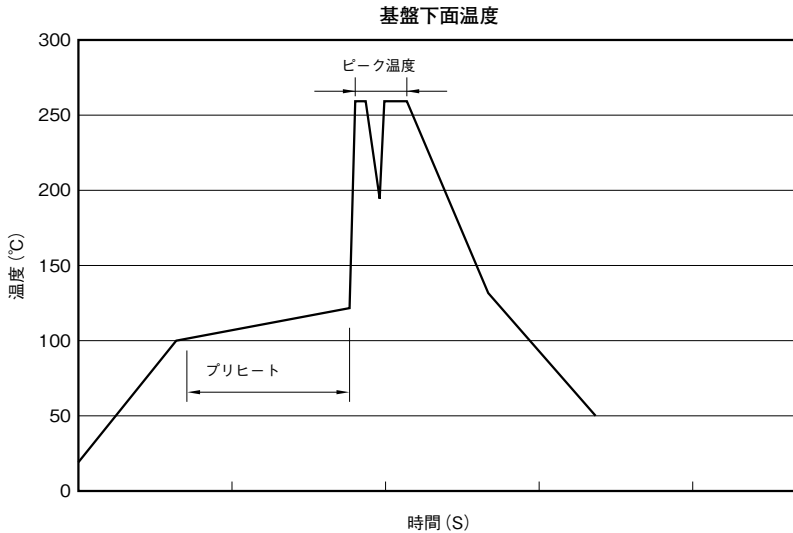
0.5V 以上の電圧が保持された状態でのリフローはお避け下さい。

上記以外のリフロー条件についてはご相談下さい。

■ はんだ付け推奨条件（鉛フリー）

● 電気二重層コンデンサ

- (1) はんだごて条件
こて先温度 400°C±5°C, 時間 4 秒 以内として下さい。
- (2) フローはんだ付け条件
下記のグラフの条件以下ではんだ付けが可能です。



構造	シリーズ	サイズ	プリヒート		ピーク温度	
			温度	時間	温度	時間
コイン形	CB1,CBN,CBJ CBS,CX,CXN CXJ,CXS,CH1 CHL,CHC	φ 11.5 ~ φ 21.5	100 ~ 110°C	30 秒以内	260°C以下	5 秒以内
捲回形	DZ1,DZH,DZN GZ1,GZH,GZN DDU,DUK,DZP	φ 6.3 ~ φ 35	100 ~ 130°C	30 ~ 60 秒	260°C±5°C	10 秒以内

はんだ付け時の注意事項

- (1) コンデンサ本体を溶融はんだに浸漬しないで下さい。
- (2) フラックスは、はんだ付けする面のみ塗布して下さい。
- (3) スリーブが直接基板および他の金属部分に接触している場合、スリーブの収縮や割れが発生することがあります。
- (4) コイン形は、プリヒートも含めて部品本体温度が 90°Cを越えないように管理して下さい。
- (5) 詳しくは使用上の注意事項および納入仕様書を参照して下さい。